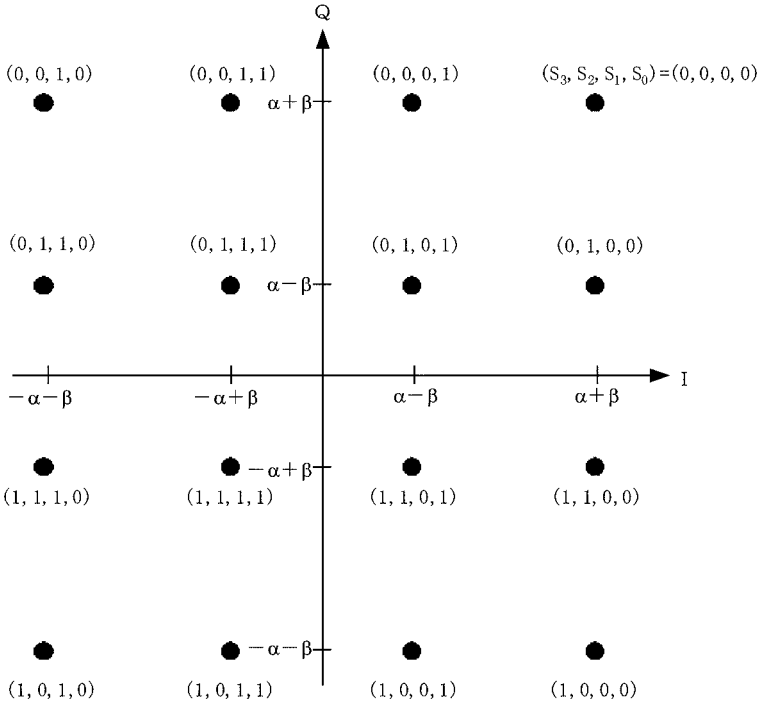
3　16値直交振幅階層変調の位相図



注１　α及びβは、ベースコンポーネント（S_1とS_3の組をいう。以下この表において同じ。）と拡張コンポーネント（S_0とS_2の組をいう。以下この表において同じ。）のエネルギー比ｒによって次式により与えられる。

$\alpha = \sqrt{r / 2\ (1 + r)}$

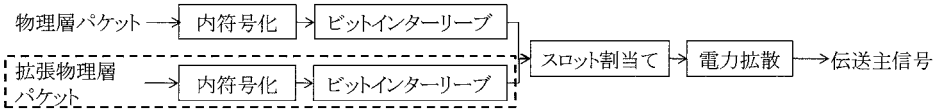
$\beta = \sqrt{1 / 2\ (1 + r)}$

２　ベースコンポーネントのみの階層変調を行う場合は、４相位相変調の位相図を準用するものとし、$D = 1 / \sqrt{2}$とする。

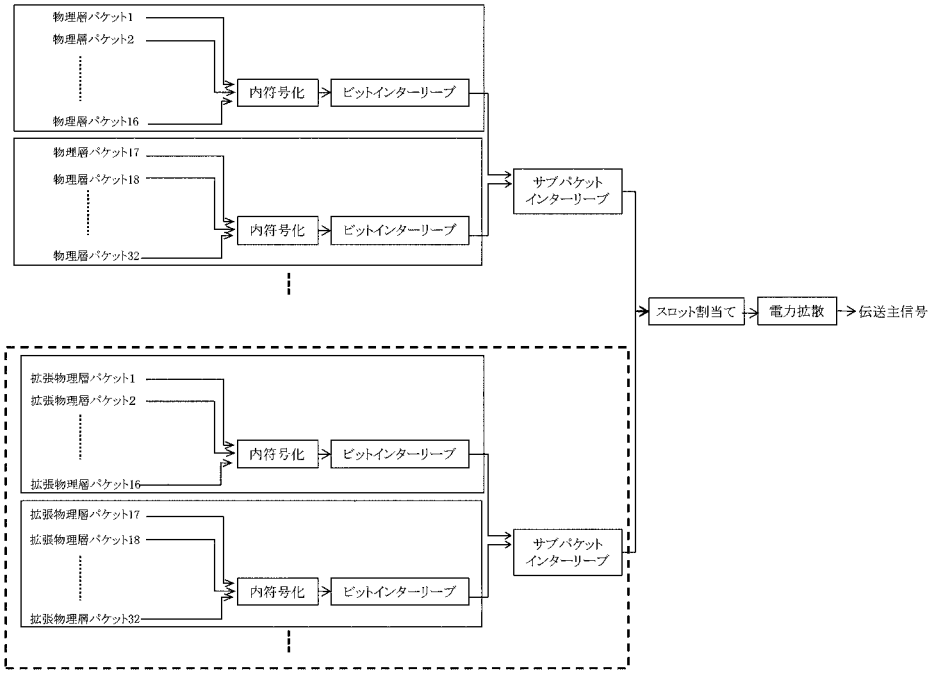
別表第三十七号　伝送主信号の構成及び送出手順（第41条関係）

伝送主信号は、物理層パケット単位処理又は16個の物理層パケットを単位として行うブロック単位処理により生成されるものとする。

１　物理層パケット単位処理



２　ブロック単位処理



注１　内符号化の誤り訂正方式は、別記１に示すターボ符号化方式とする。

２　ビットインターリーブは、別記２のとおりとする。

３　サブパケットは、ビットインターリーブされた信号を分割したものをいい、サブパケットインターリーブは、サブパケットの順序を並び替えることをいう。

４　スロット割当ては、スロット番号１から７までのうち１又は連続した複数のスロット番号とする。

５　電力拡散は、別記３のとおりとする。

６　拡張物理層パケットは、16値直交振幅階層変調による変調マッピングを行う場合に別表第三十六号の３注１に規定する拡張コンポーネントに割り当てられる物理層パケットをいう。